

ピーピー豆

コーナー遊びを楽しんでいる時に
外から声がするので畑を見てみるとき組の子どもたちが
苗植えを始めるところでした。
興味津々で眺めていましたがそこに「ピー！」と笛のような音が
鳴響いたので「ん？何の音？」「とりさん？」と
不思議そうな子どもたち。

正体は園長先生のピーピー豆の音でした。（正式名称：カラスノエンドウ）
近くで吹いて見せてくれ、初めはきょとんとした表情でしたが
次第にみんなで笑い合う姿があり「やりたーい」とAさん。
園長先生がひとりひとりに豆を渡してくれやり方を教えてくれました。

（豆を取り出して白い筋を取ることが大切みたいです！）
いざ吹いてみると「すー」と息の音しかせず「あれ？」と
なんども挑戦していましたがなかなかできず
成功者は現れませんでした。

（ちなみに保育者もできず・・・園長先生のみ音が出せました）
ほとんどの子どもたちが「できんかったね」と
残念そうな表情でしたが当分豆を握り締めて
違う活動に参加していました。

Aさんは「なんで音になるんだろうね」とできないことより
音が出ることの方が気になっていて色々な思考があることに
感心しました。

（まずは私がピーピー豆を鳴らせるようになるまで頑張ります！）

朝の会の後に戸外へ行くと砂場の前が水たまりで泥だらけ！
幼児組の楽しんだ後でいつもと違う光景に目を輝かせて
嬉しそうに飛び込む子どもたち。
スコップやバケツ等を持ってきてすくってみたり
手で砂や泥の感触を楽しむ姿がありました。

戸外ではピーピー豆のことはすっかり
忘れていましたが部屋に戻ると思い出して
「まめたのしかったね」とBさん。
「ピーピー」と吹く真似をするCさんに一緒に
なって笑い合い素敵なひとときになりました。

